

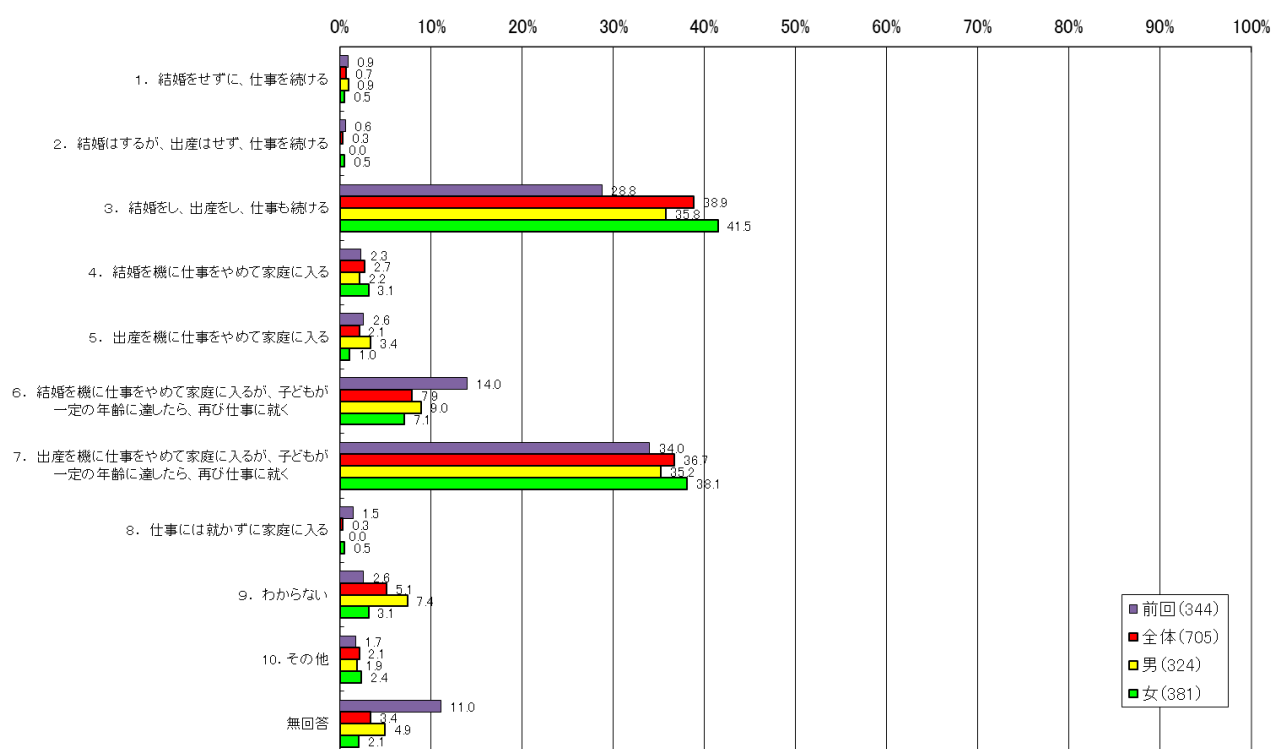
3 仕事について

3-1 女性の仕事や結婚についての理想像

問6 あなたがお考えになる「女性の仕事や結婚についての理想像」は次のどれに最も近い
ですか。(〇は1つ)

〔前回調査（平成20年）との比較〕

「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」と回答した人の割合は38.9%で、前回調査（28.8%）に比べ10.1ポイント増えています。一方、「結婚を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」と回答した人の割合は7.9%で、前回調査（14.0%）に比べ6.1ポイント減少しています。したがって、女性がより長い期間仕事続けるのがよいと考えている人が増えたと考えられます。

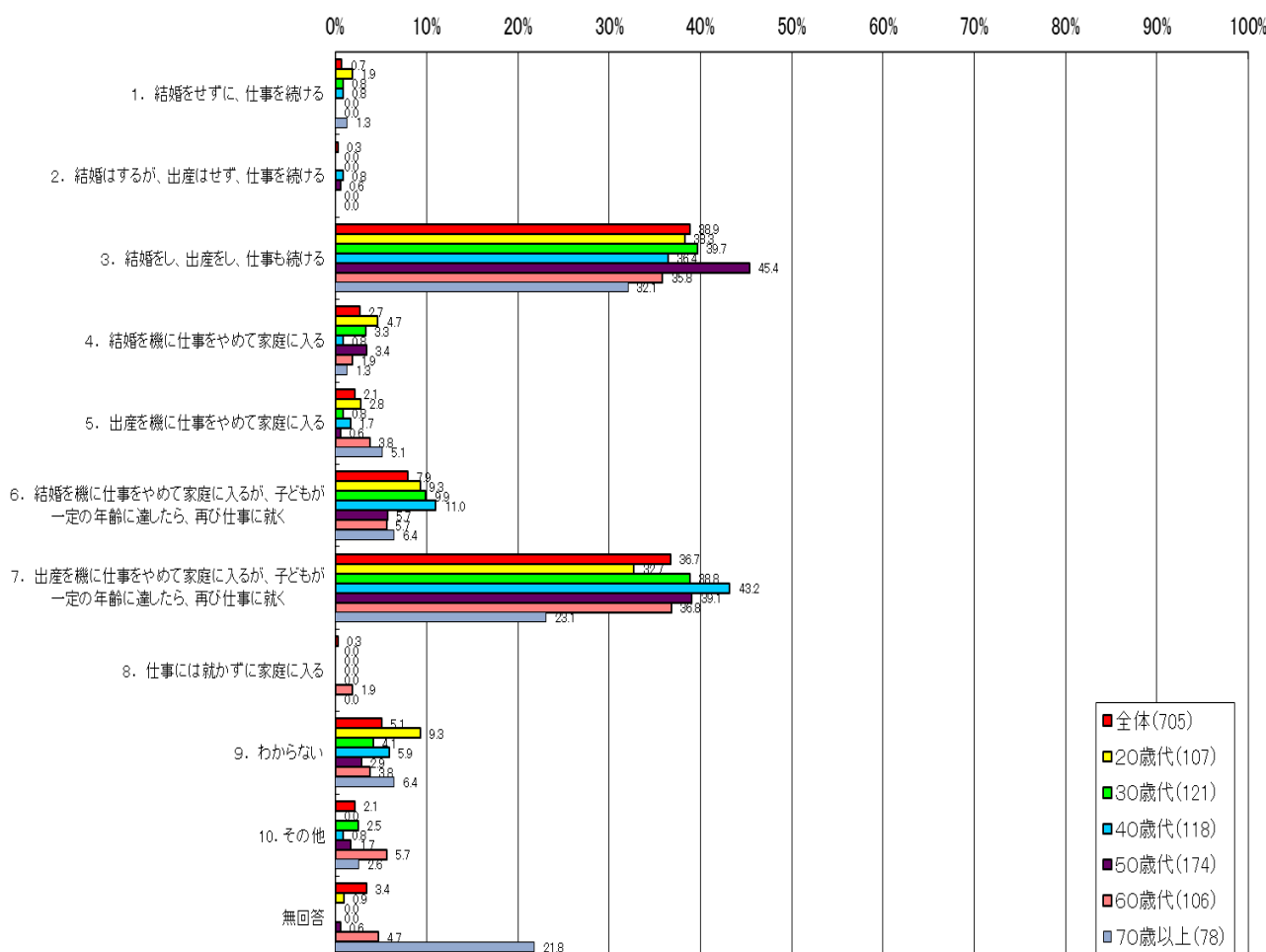


【全体】

「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」と回答した割合が38.9%と最も高く、次いで「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」と回答した割合が36.7%となっています。

【性別】

男女とも「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」と回答した割合（男性 35.8%、女性 41.5%）が最も高く、次いで「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」と回答した割合（男性 35.2%、女性 38.1%）となっています。



【年齢別】

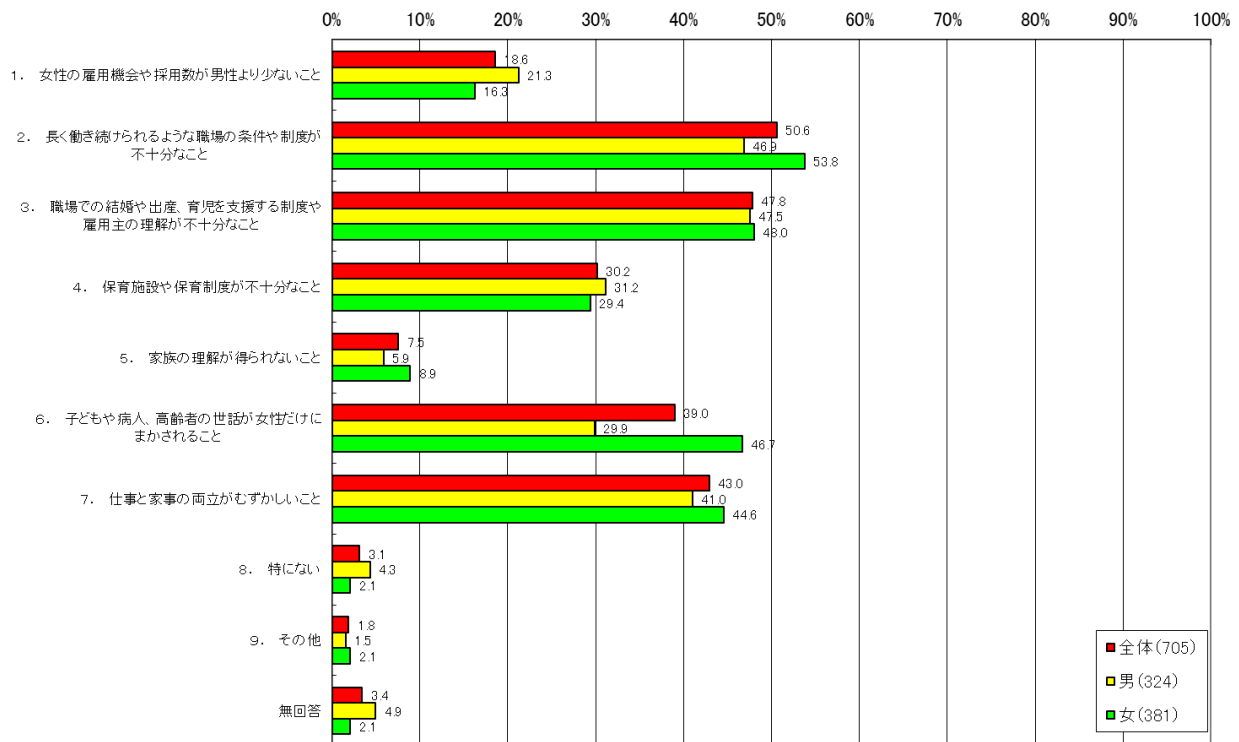
「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」と回答した割合は、50 歳代で 45.4%と最も高く、次いで 30 歳代で 39.7%となっています。

「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」と回答した割合は、40 歳代で 43.2%と 4 割強を占め最も高くなっています。

いずれの年齢層でも「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」、「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」が上位となっています。20 歳代、30 歳代、50 歳代、70 歳以上では「結婚をし、出産をし、仕事も続ける」が最も多く、40 歳代、60 歳代では「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く」が最も多くなっています。

3-2 女性が仕事をもち続けるうえでの障害

問7 女性が仕事をもち続けるうえで、障害となっているものは何だと思いますか。(〇は3つまで)



【全体】

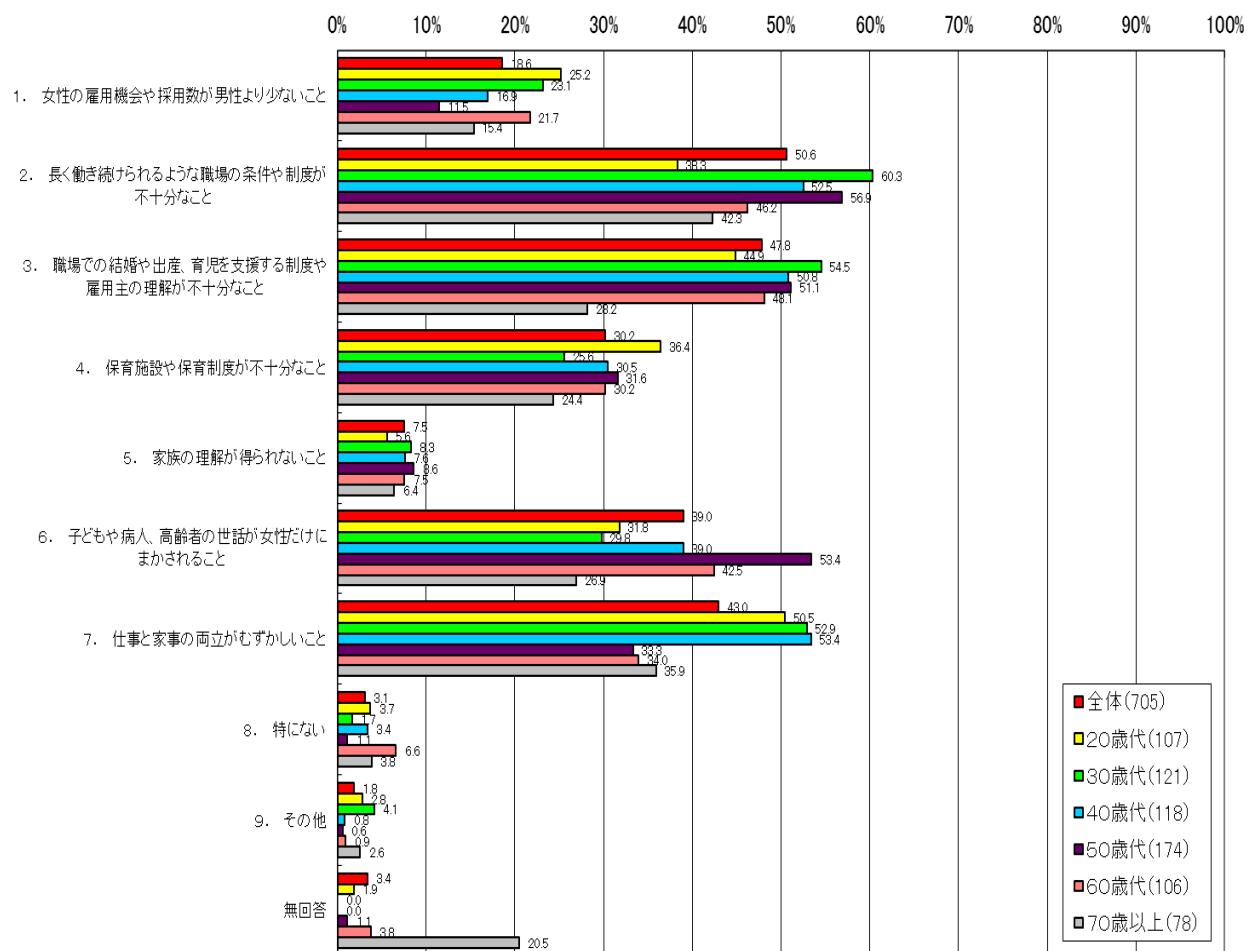
「長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと」と回答した割合が最も高く 50.6%、次いで「職場での結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと」と回答した割合が 47.8%、「仕事と家事の両立がむずかしいこと」と回答した割合が 43.0% となっています。

【性別】

男女とも「長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと」と回答した割合（男性 46.9%、女性 53.8%）、「職場での結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと」と回答した割合（男性 47.5%、女性 48.0%）が 4 割以上を占め、上位となっています。

「女性の雇用機会や採用数が男性より少ないこと」と回答した割合は、男性回答者が 21.3% であるのに対し、女性回答者が 16.3% で、男性回答者が女性回答者を 5.0 ポイント上回っています。

「子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされること」と回答した割合は、男性回答者が 29.9% と 3 割弱であるのに対し、女性回答者が 46.7% と 5 割弱となっており、女性回答者が男性回答者を 16.8 ポイント上回っています。



【年齢別】

「長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと」と回答した割合は、30歳代が最も高く60.3%、次いで50歳代が56.9%となっており、20歳代で38.3%と最も低くなっています。

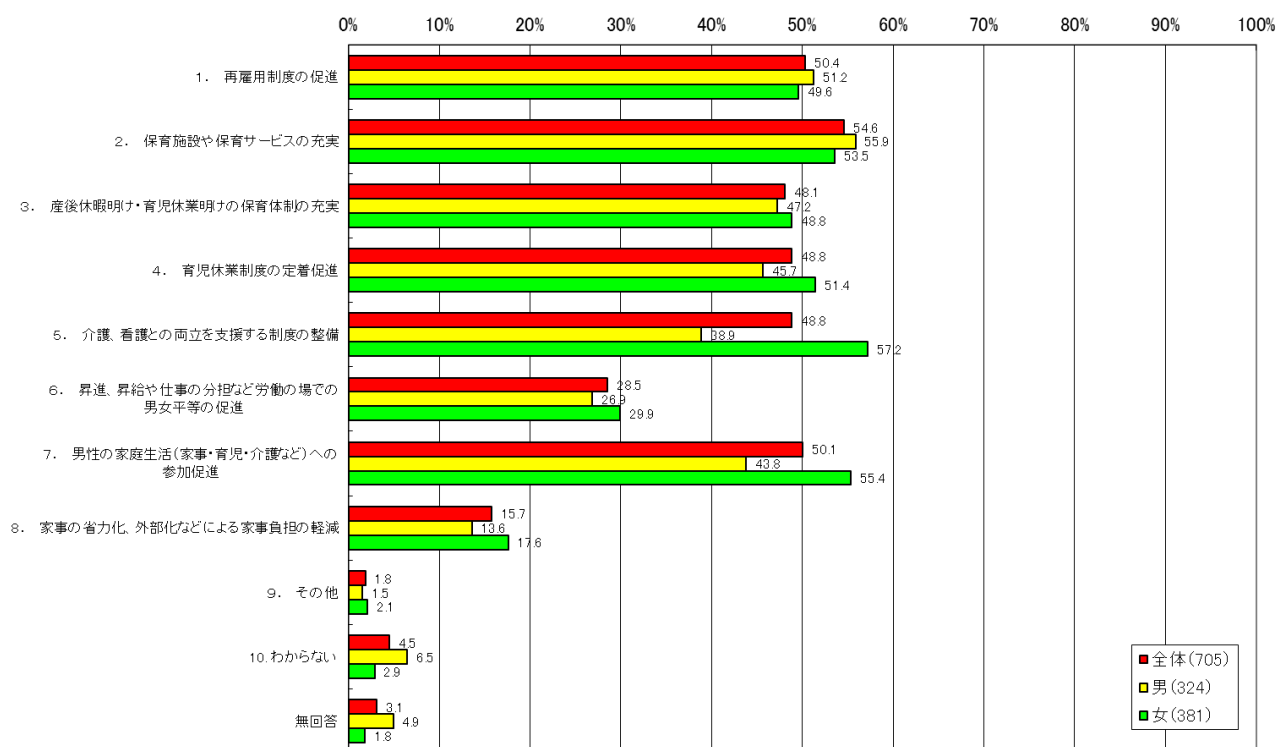
「保育施設や保育制度が不十分なこと」と回答した割合は20歳代で36.4%となっており、他の年齢層と比べて高くなっています。

「子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされること」と回答した割合は50歳代で53.4%となっており、他の年齢層と比べて高くなっています。

「仕事と家事の両立がむずかしいこと」と回答した割合は20歳代で50.5%、30歳代で52.9%、40歳代で53.4%と5割を超えているのに対し、50歳以上では3割程度となっており、年齢層が低いほうが仕事と家事の両立の難しさを感じている傾向にあります。

3-3 女性が働きやすい環境づくり

問8 雇用の場への女性の進出が進む中で、女性が働きやすい環境をつくるため、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



【全体】

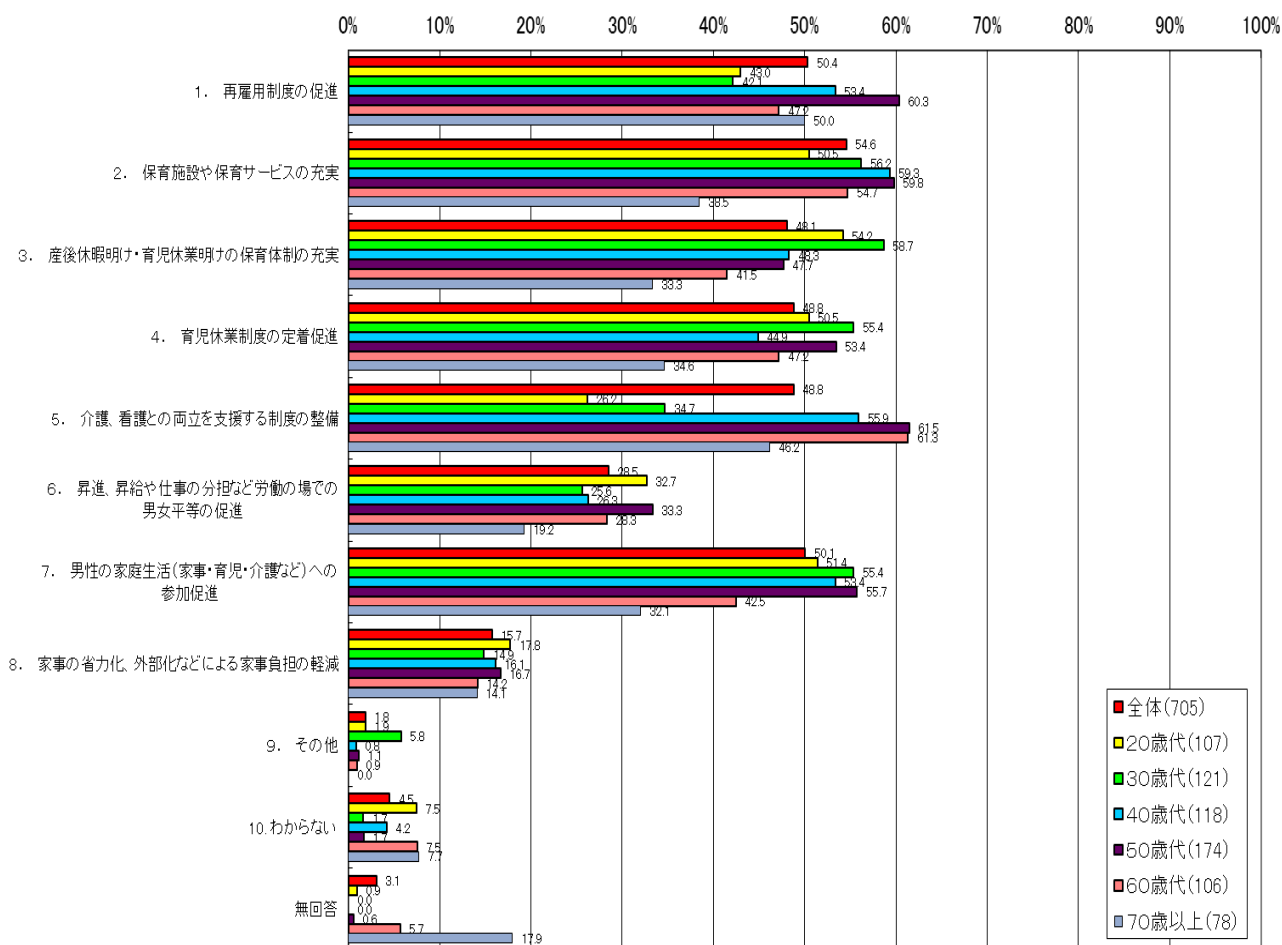
「保育施設や保育サービスの充実」と回答した割合が 54.6%で最も高く、次いで「再雇用制度の促進」と回答した割合が 50.4%、「男性の家庭生活（家事・育児・介護など）への参加促進」と回答した割合が 50.1%となっています。

【性別】

男性回答者は、「保育施設や保育サービスの充実」と回答した割合が 55.9%で最も高く、次いで「再雇用制度の促進」と回答した割合が 51.2%となっています。

女性回答者は、「介護、看護との両立を支援する制度の整備」と回答した割合が 57.2%で最も高く、次いで「男性の家庭生活（家事・育児・介護など）への参加促進」と回答した割合が 55.4%となっています。

「介護、看護との両立を支援する制度の整備」と回答した男性回答者の割合は 38.9%、「男性の家庭生活（家事・育児・介護など）への参加促進」と回答した男性回答者の割合は 43.8%で、いずれも女性の回答率を 10 ポイント以上下回っており、男性回答者と女性回答者のポイント差が顕著になっています。



【年齢別】

20 歳代、30 歳代では、「産後休暇明け・育児休業明けの保育体制の充実」と回答した割合（20 歳代 54.2%、30 歳代 58.7%）が最も高くなっています。

40 歳代では、「保育施設や保育サービスの充実」と回答した割合（59.3%）が最も高くなっています。

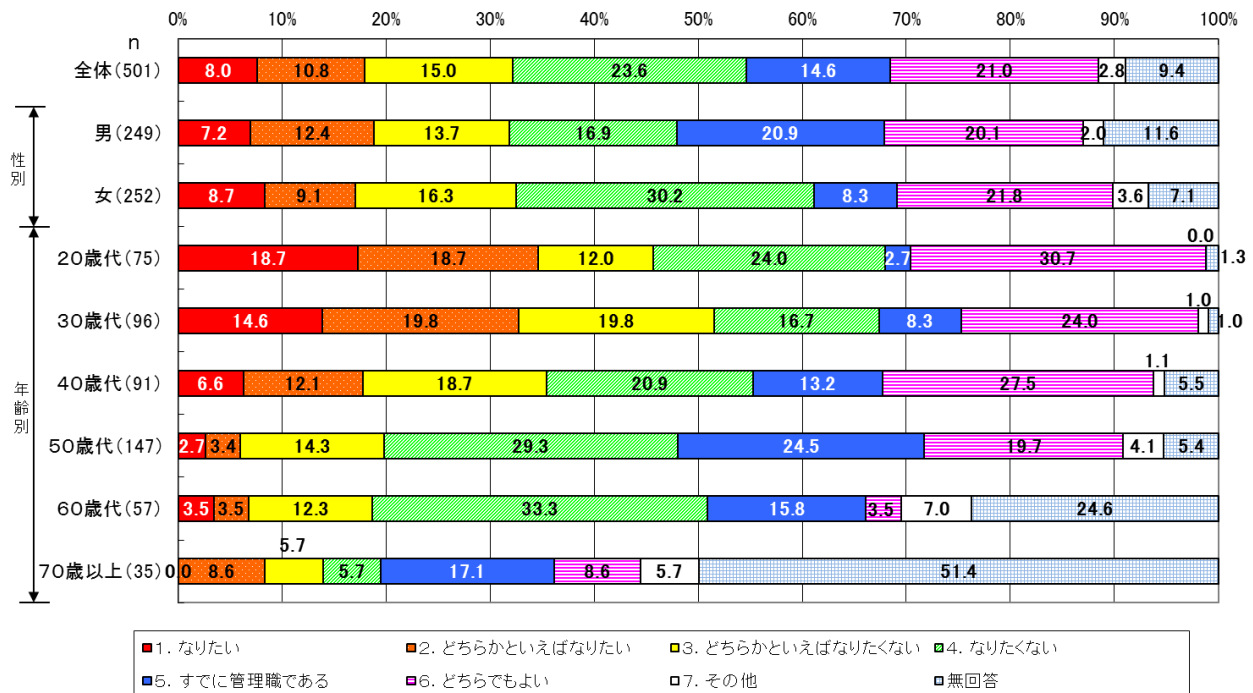
50 歳代、60 歳代では、「介護、看護との両立を支援する制度の整備」と回答した割合（50 歳代 61.5%、60 歳代 61.3%）が最も高くなっています。

70 歳以上では、「再雇用制度の促進」と回答した割合（50.0%）が最も高くなっています。

このことから、年齢層によって回答内容が異なることが考えられます。これは、回答者の生活環境・ライフステージの違いによるものと思われます。

3-4 管理職への就任願望

問9 現在、働いている方のみお答えください。あなたは機会があれば管理職になりたいと思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「なりたい」「どちらかといえばなりたい」を合わせた割合は18.8%、「なりたくない」「どちらかといえばなりたくない」を合わせた割合は38.6%となっており、管理職になりたくないと思う人の割合が高くなっています。

【性別】

「なりたい」「どちらかといえばなりたい」を合わせた割合は、男性回答者が19.6%、女性回答者が17.8%となっています。

一方、「なりたくない」「どちらかといえばなりたくない」を合わせた割合は、男性回答者が30.6%、女性回答者が46.5%となっており、男女とも管理職になりたくないと思う人の割合が高くなっています。管理職になりたいと思う人となりたくないと思う人のポイント差は男性回答者よりも女性回答者のほうが大きくなっています。

また、「すでに管理職である」と回答した人は男性回答者が20.9%であるのに対し、女性回答者は8.3%と、男性回答者の半分以下となっています。

【年齢別】

「なりたい」「どちらかといえばなりたい」を合わせた割合は、20 歳代で 37.4%と最も高く、30 歳代で 34.4%、40 歳代で 18.7%、50 歳代以上は 1 割以下となっています。

一方、「なりたくない」「どちらかといえばなりたくない」を合わせた割合は、60 歳代で 45.6%と最も高く、50 歳代（43.6%）から 20 歳代（36.0%）まで年齢が低くなるにしたがって、少なくなっています。

20 歳代では管理職になりたいと思う人の割合が、なりたくないと思う人の割合を上回っていますが、30 歳代以上では管理職になりたくないと思う人の割合のほうが高くなっています。なお、50 歳代及び 60 歳代においては、管理職になりたいと思う人となりたくないと思う人のポイント差が顕著になっています。

3-5 職場における休暇取得環境

問10 現在、働いている方のみお答えください。あなたの職場では、有給休暇や育児休業などを取りやすい環境にありますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は、『有給休暇』が38.8%と最も高く、次いで『育児休業』が26.2%、『介護休業』が16.2%となっています。

なお、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は、『有給休暇』が27.8%、『育児休業』が21.4%、『介護休業』が24.2%となっています。有給休暇及び育児休業は取りやすいと回答した人のほうが多くなっていますが、介護休業は取りにくいと回答した人のほうが多くなっています。

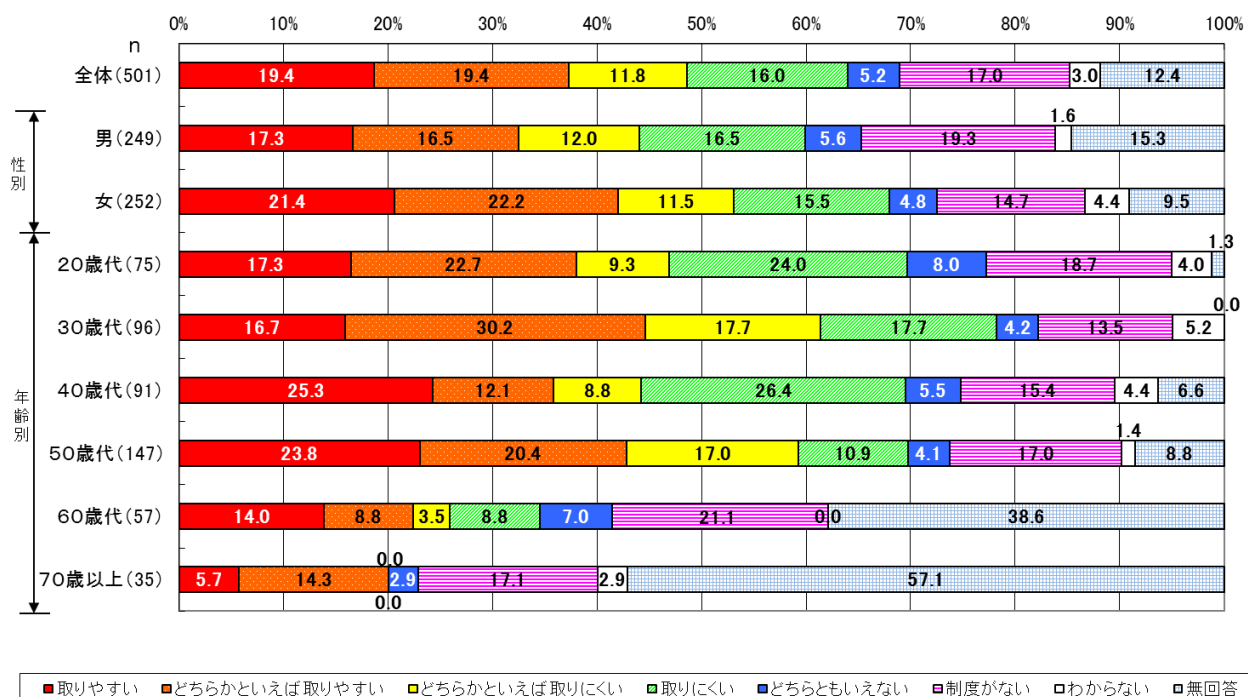
【性別】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は、『有給休暇』の項目で男性回答者が33.8%、女性回答者が43.6%、『育児休業』の項目で男性回答者が21.2%、女性回答者が31.0%となっており、有給休暇や育児休業について、男性回答者よりも女性回答者のほうが取りやすいと回答した人の割合が高くなっています。『介護休業』の項目では、男性回答者が15.2%、女性回答者が17.0%となっています。

【年齢別】

30歳代では、いずれの休暇種別においても「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」と回答した人の割合が他の年齢層より高くなっています。したがって、30歳代は育児や介護等で休暇を必要としている一方、仕事では休みが取りにくい状況にあることが推察されます。

1. 有給休暇



【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は 38.8%、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は 27.8%となっており、有給休暇は取りやすいと回答した人のほうが多くなっています。

【性別】

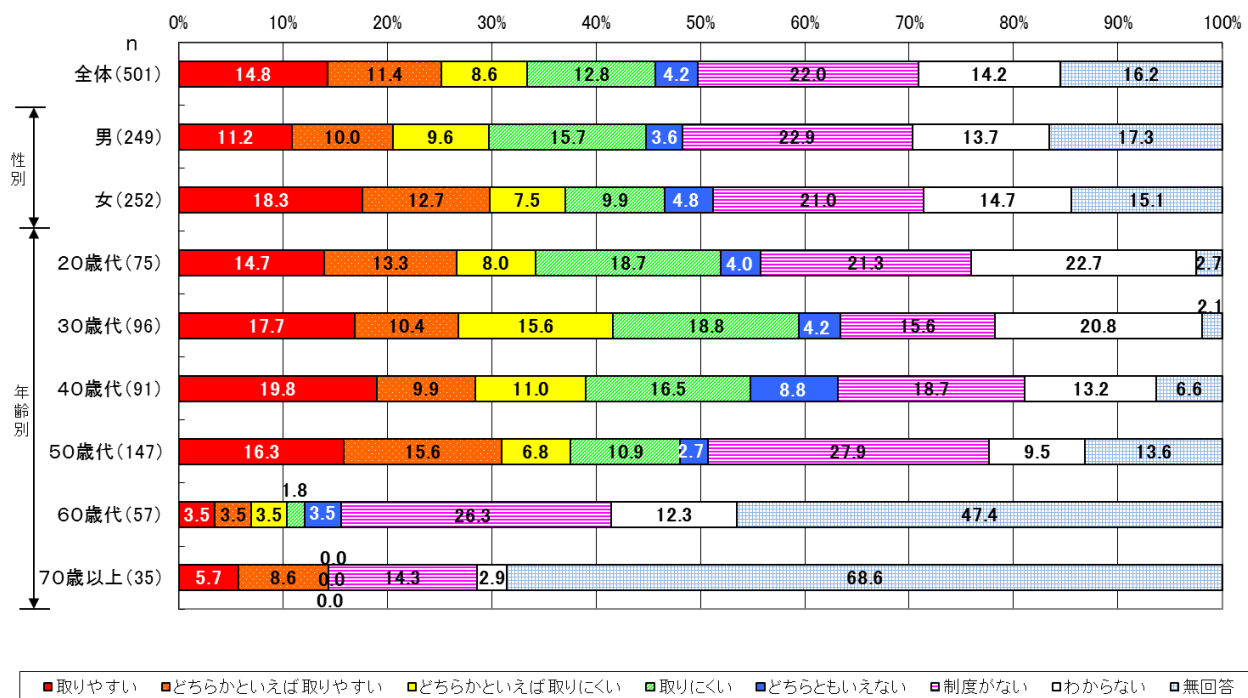
「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は、男性回答者が 33.8%、女性回答者が 43.6%となっています。一方、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は、男性回答者が 28.5%、女性回答者が 27.0%となっています。したがって、有給休暇は、男女とも取りやすいと回答した人のほうが多くなっています。

【年齢別】

すべての年齢層で取りやすいと回答した人が多くなっています。

取りやすいと回答した人の割合は、30 歳代で 46.9%と最も高く、次いで 50 歳代で 44.2%となっています。

2. 育児休業



【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は 26.2%、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は 21.4%となっており、育児休業は取りやすいと回答した人のほうが多くなっています。

【性別】

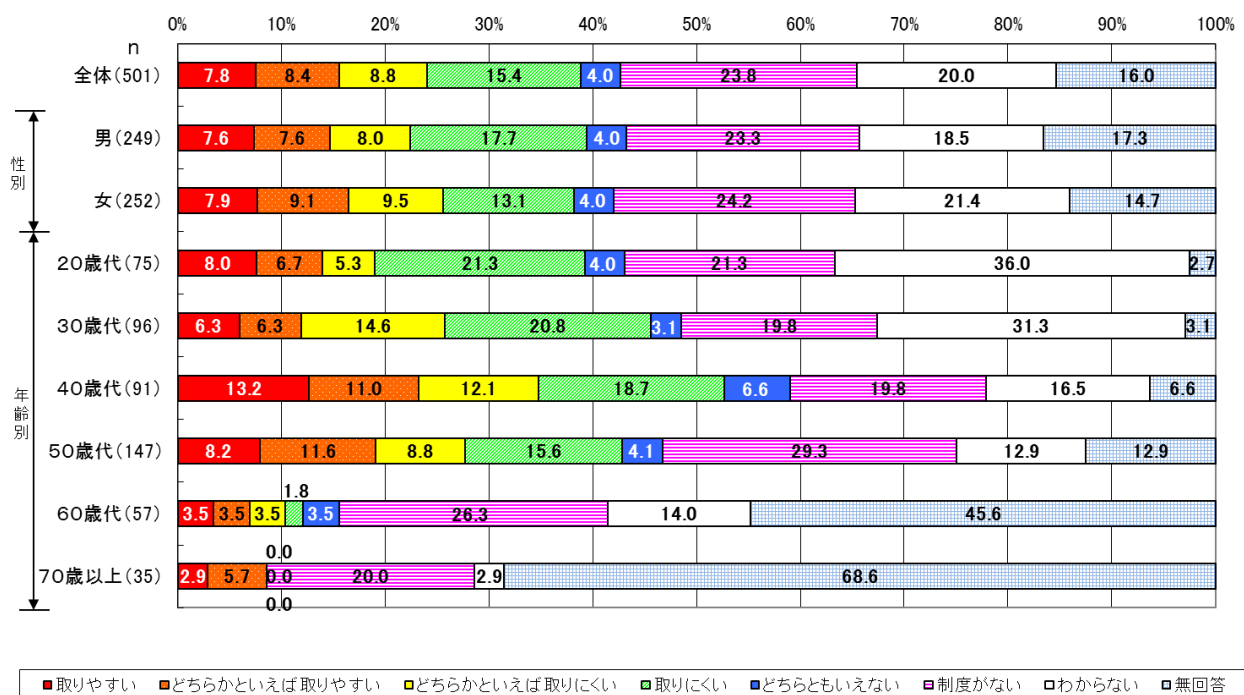
「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は、男性回答者が 21.2%、女性回答者が 31.0%となっています。一方、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は、男性回答者が 25.3%、女性回答者が 17.4%となっています。したがって、育児休業は、女性回答者は取りやすいと回答した人のほうが多くなっていますが、男性回答者は取りにくいと回答した人のほうがやや多くなっています。

【年齢別】

30 歳代では取りにくいと回答した人のほうが多くなっていますが、他の年齢層では取りやすいと回答した人のほうが多くなっています。

なお、取りやすいと回答した人と取りにくいと回答した人のポイント差は、50 歳代で最も大きく 14.2 ポイントとなっています。

3. 介護休業



【全体】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は 16.2%、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は 24.2%となっており、介護休業は取りにくいと回答した人のほうが多くなっています。

【性別】

「取りやすい」「どちらかといえば取りやすい」を合わせた割合は、男性回答者が 15.2%、女性回答者が 17.0%となっています。一方、「取りにくい」「どちらかといえば取りにくい」を合わせた割合は、男性回答者が 25.7%、女性回答者が 22.6%となっています。したがって、介護休業は、男女とも取りにくいと回答した人のほうが多くなっています。

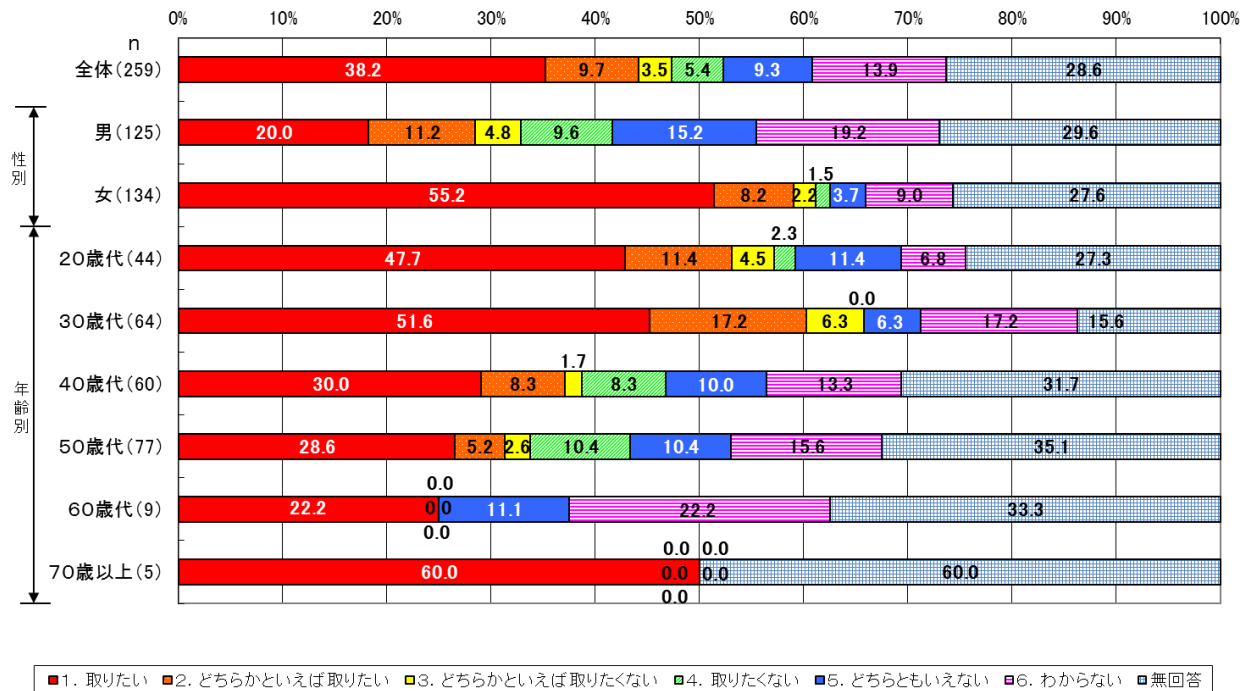
【年齢別】

20 歳代から 50 歳代までは取りやすいと回答した人よりも取りにくいと回答した人のほうが多くなっています。取りにくいと回答した人の割合は、30 歳代で 35.4%と最も高く、次いで 40 歳代で 30.8%となっています。

また、取りやすいと回答した人と取りにくいと回答した人のポイント差は 20 歳代で 11.9 ポイント、30 歳代で 22.8 ポイントと他の年齢層よりもポイント差が大きくなっています。

3-6 育児休業の取得

問 11 現在、働いている方で職場に育児休業制度がある方のみお答えください。あなたは、機会があれば育児休業を取りたいと思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「取りたい」「どちらかといえば取りたい」を合わせた割合は 47.9%、「取りたくない」「どちらかといえば取りたくない」を合わせた割合は 8.9%となっており、育児休業を取りたいと回答した人の割合が取りたくないと回答した人の割合を大きく上回っています。

【性別】

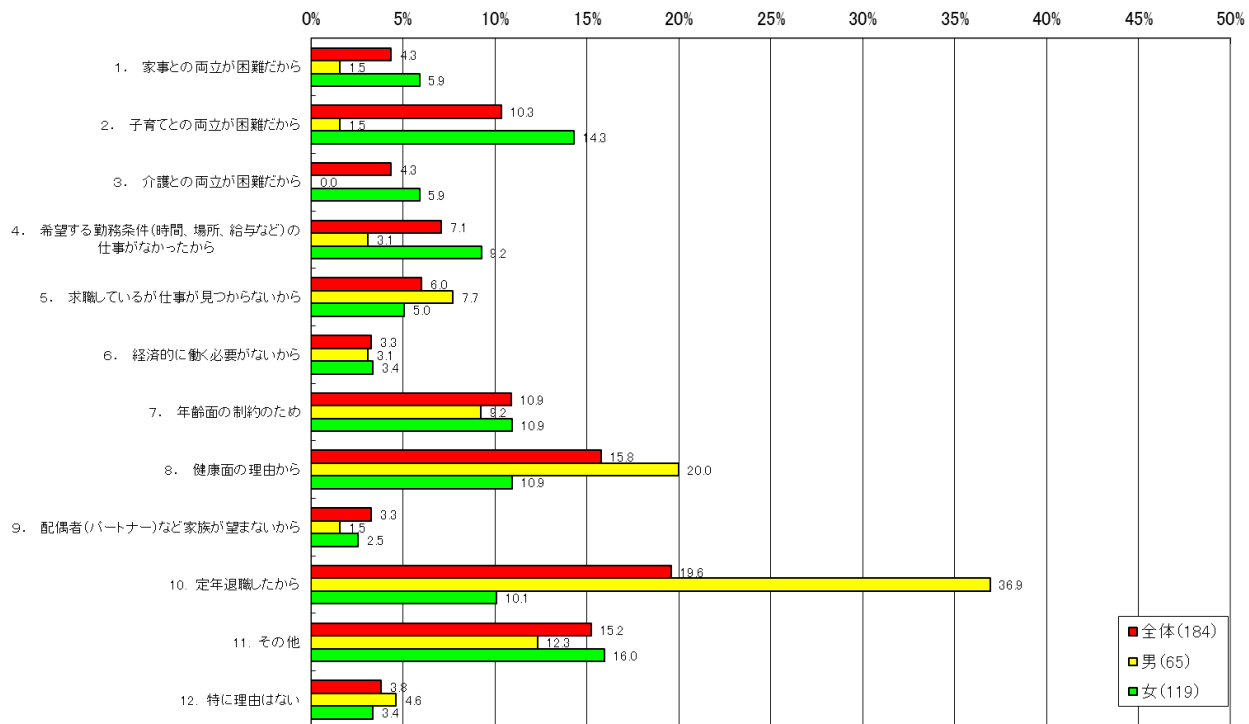
「取りたい」「どちらかといえば取りたい」を合わせた割合は、男性回答者が 31.2%で3割強、女性回答者が 63.4%で6割強となっています。一方、「取りたくない」「どちらかといえば取りたくない」を合わせた割合は、男性回答者が 14.4%、女性回答者が 3.7%となっており、男女とも取りたいと回答した人の割合のほうが高くなっています。取りたいと思う人と取りたくないと思う人のポイント差は、男性回答者より女性回答者のほうが大きくなっています。

【年齢別】

いずれの年齢層でも取りたいと思う人の割合が取りたくないと思う人の割合を上回っています。「取りたい」「どちらかといえば取りたい」と回答した人の割合は、30歳代で最も高く 68.8%、次いで 20歳代で 59.1%となっています。

3-7 働いていない理由

問 12 現在、働いていない方のみお答えください。あなたが働いていない理由は何ですか。
(〇は1つ)



【全体】

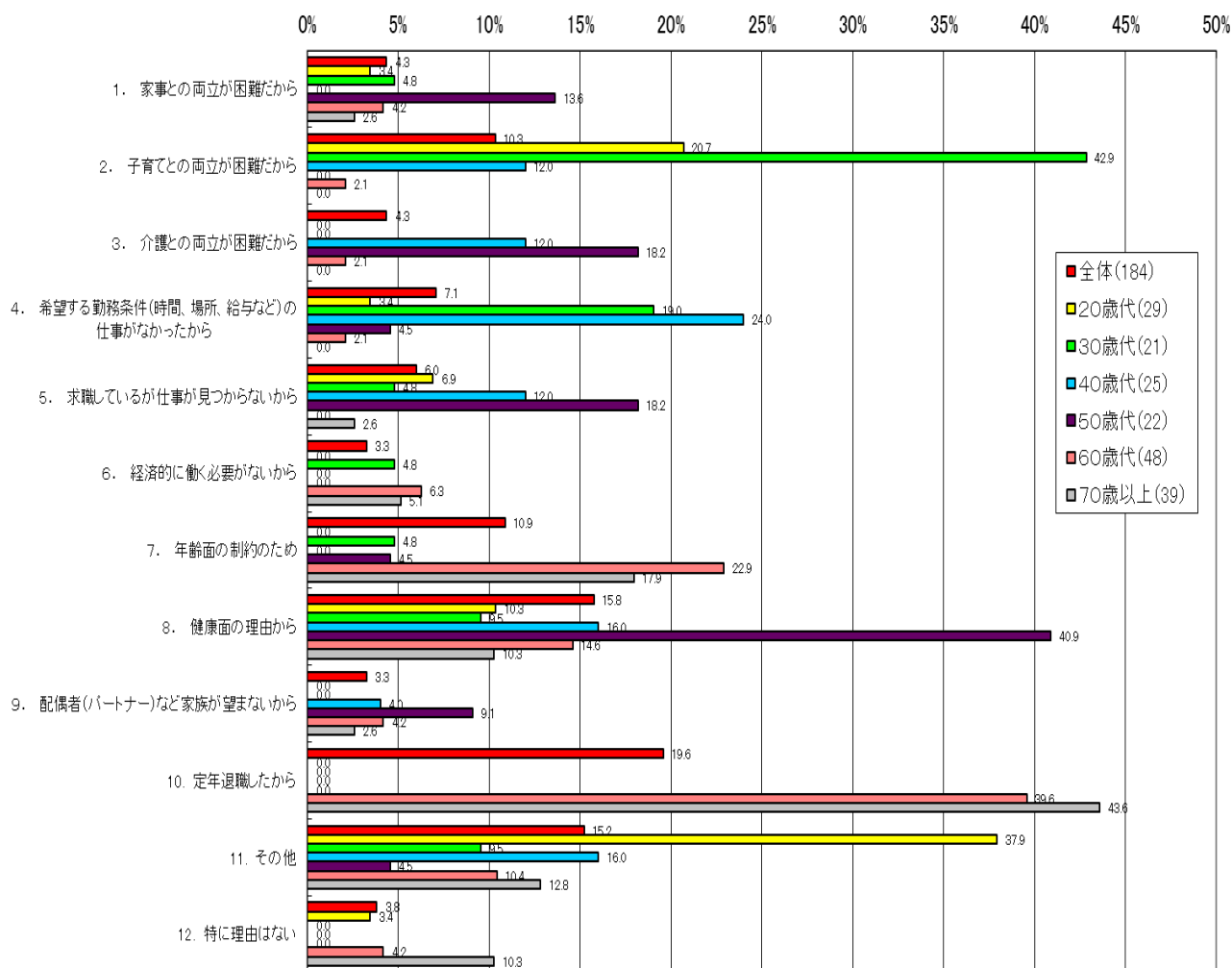
「定年退職したから」と回答した割合が最も高く 19.6%、次いで「健康面の理由から」と回答した割合 (15.8%) となっています。

【性別】

「定年退職したから」と回答した割合は、男性回答者が 36.9%と 4 割弱であるのに対し、女性回答者は 10.1%と低くなっており、男性回答者と女性回答者のポイント差が顕著になっています。

「健康面の理由から」と回答した割合は、男性回答者が 20.0%であるのに対し、女性回答者は 10.9%となっています。

「家事との両立が困難だから」と回答した割合 (男性 1.5%、女性 5.9%)、「子育てとの両立が困難だから」と回答した割合 (男性 1.5%、女性 14.3%)、「介護との両立が困難だから」と回答した割合 (男性 0.0%、女性 5.9%) は、男性回答者よりも女性回答者のほうが高くなっています。女性は仕事と家庭生活との両立に困難を抱えていることが推察されます。また、「希望する勤務条件 (時間、場所、給与など) の仕事なかったから」と回答した割合も、男性回答者に比べ女性回答者のほうが高くなっています。



【年齢別】

30 歳代では、「子育てとの両立が困難だから」と回答した割合が 42.9%で最も高くなっています。40 歳代では「希望する勤務条件（時間、場所、給与など）の仕事がなかったから」と回答した割合が 24.0%で最も高くなっています。50 歳代では、「健康面の理由から」と回答した割合が 40.9%で最も高くなっています。60 歳代、70 歳以上では「定年退職したから」と回答した割合（60 歳代 39.6%、70 歳以上 43.6%）が最も高くなっています。